

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年9月6日(2018.9.6)

【公開番号】特開2016-87467(P2016-87467A)
 【公開日】平成28年5月23日(2016.5.23)
 【年通号数】公開・登録公報2016-031
 【出願番号】特願2015-216208(P2015-216208)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 C

【手続補正書】
 【提出日】平成30年7月25日(2018.7.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技媒体を用いた遊技を行う遊技機において、

当該遊技機の前面側に設けられ、遊技者によって操作可能な透明な操作受部と、

前記操作受部を通して視認可能に配置された内部装飾装置と、を備え、

前記内部装飾装置は、立体形状の装飾体と、該装飾体を後方から発光装飾する発光部とを有し、前記操作受部を通して前記発光部を直接視認することが困難になるように、該装飾体が前記発光部を被覆するように設けられており、

前記装飾体は、前記操作受部を通して視認可能になる装飾面が変化するように動作可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 4
 【補正方法】削除
 【補正の内容】
 【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 6】

そこで、本発明は、上記の実情に鑑み、興趣の低下を抑制することが可能な遊技機の提供を課題とする。

【手続補正 4】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明は、
遊技媒体を用いた遊技を行う遊技機において、
当該遊技機の前面側に設けられ、遊技者によって操作可能な透明な操作受部と、
前記操作受部を通して視認可能に配置された内部装飾装置と、を備え、
前記内部装飾装置は、立体形状の装飾体と、該装飾体を後方から発光装飾する発光部と
を有し、前記操作受部を通して前記発光部を直接視認することが困難になるように、該装
飾体が前記発光部を被覆するように設けられており、
前記装飾体は、前記操作受部を通して視認可能になる装飾面が変化するように動作可能
である

ことを特徴とする。（例えば、図 6 7 ~ 図 7 3 を参照）

また、本発明とは別の発明として以下の手段を参考的に開示する。

手段 1：遊技機において、

「所定の遊技が行われる遊技領域と、

該遊技領域よりも正面視下側に配置されているベース部と、

該ベース部に取付けられている内部装飾手段と、

該内部装飾手段を覆うように前記ベース部に取付けられ、前記内部装飾手段を遊技者か
ら視認可能としている透明な操作受部、及び該操作受部の外周縁から内側へ向かって延び
ている受部用装飾部を備え、遊技者が操作可能な操作部と
を具備している」ものであることを特徴とする。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 8 0

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 8 0 】

このように、本発明によれば、興趣の低下を抑制することが可能な遊技機を提供するこ
とができる。